

# 特定非営利活動法人 たちかわ多文化共生センター

事業名

生活支援事業

## 「外国人児童・生徒生活支援事業」

### 取組内容

外国に繋がる児童・生徒の保護者からの生活相談、ならびに児童・生徒のための日本語教室（子ども日本語教室及び放課後日本語教室）の運営。

#### 【児童・生徒相談窓口】

年間計16回対応。主に本事業の日本語教室または他の支援組織を紹介。

#### 【子ども日本語教室（つばさ）】

週1回水曜日に開講。会場は立川市子ども未来センター。午後3時～午後5時が小学生の部。午後5時～午後7時が中学生の部。

原則として学習者1名に対しボランティア2名で日本語指導。小学生8名～10名。中学生8名～10名。支援者は60名程度。

#### 【放課後日本語教室】

「つばさ」に通う事が困難な児童を対象に、支援者が児童の所属校で週1回日本語指導を実施。3校9名を対象に延べ166回実施。

◆ 事業期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

#### ◆ 参加人数

【児童・生徒相談窓口】16件、

【子ども日本語教室（つばさ）】小学生290名、中学生142名（延べ）

【放課後日本語教室】9名



楽しく日本語を勉強しています。



学生主催のお遊び会。

### 効果

- ・「つばさ」内で**友達が出来た**。
- ・学習者が明るくなった。
- ・日本語力向上により、**学校の授業への理解度**が増した。

- ・高校受験を控えている生徒は、必要であれば福生市のYSCグローバル・スクールを紹介した。
- ・高校進学希望者3名**全員が都立高校に進学**した。

### 事業を振り返って TMC「児童・生徒生活支援事業委員会」委員長・TMC副理事長 森田 眞澄さん



短冊に願い事を書きました。

子ども達の出席率が高く、居場所として定着しつつあると感じています。子どもの背景・状況は一人ひとり異なるため、各人に合った教材や指導法を手探りで工夫している状態です。事業開始から1年半が経ち、継続のためには立川市・教育委員会・学校・スクールソーシャルワーカー等との連携が必須であると実感しています。